

1670年創建閑谷学校とSDGs(持続可能な開発目標)

世界最古の庶民のための公立学校は、300年以上どのように持続してきたか。
閑谷学校での学びは、どのような現代的意義があるか。



乳金具, 乳鉋: 釘隠し
窮民救済施設



閑谷学校での学び
四書五経 孔子の教え「論語」
現代: 講堂学習で「論語」の継承
素読 講釈 会読
枳菜(日本遺産構成文化財)



強靱なインフラとしての学校建築
三重構造の屋根
備前焼の瓦や防水パイプ
防虫, 防腐に適した木材, 地下水路
防火のための火除山
現代: 世界文化遺産登録運動
日本遺産第一号
文化財保護法 史跡探訪研修



地域との協働 存続運動
現代: ボランティアガイド
センター研修プログラムへの参画
備前焼、窯業など



世界最古の庶民のための公立学校
池田光政が津田永忠に命じて建設



庶民のための学校 人づくり
山田方谷による再興「閑谷精舎」
西 薇山らによる再興「閑谷巒」
現代: 多くの人材を輩出
岡山県立和気閑谷高校
青少年教育センター閑谷学校



学校田・林(地主として管理)
「定」による木の伐採の禁止



学校を永続的に使う工夫
防水, 防火 自営
椿山の400本の椿 食用油 石堀の
前にも田畑 飲室の炉(防火の教え)
現代: 講堂での研修(論語, 床磨き)



学校の持続的な運営(経済的な安定)
学校領(田地・山地)の設置
現代: 特別史跡 国宝・重要文化財
指定管理制度

閑谷学校の歴史的・文化的価値の継承